

令和3年度～令和5年度「輝く中山間地域創出事業」補助金

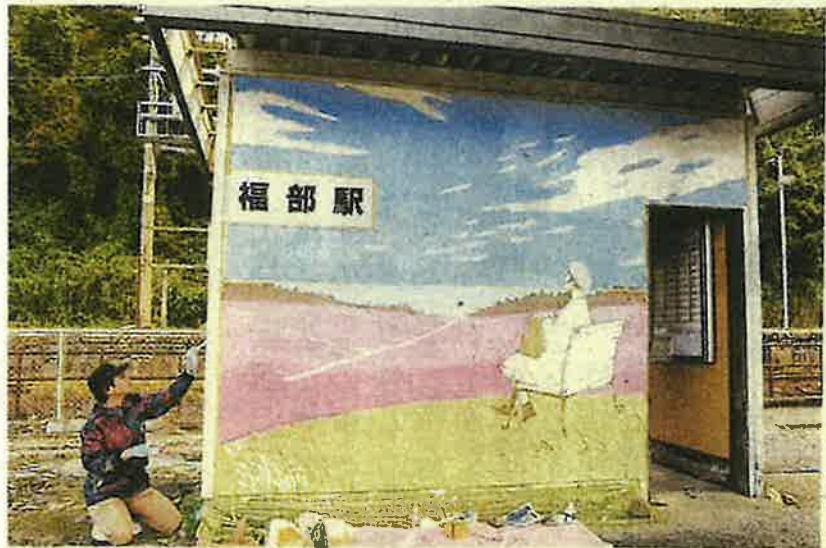
活動年度		主な活動と補助金用途
令和3年度	<p>【テーマ】 福部駅開業110周年に際して福部駅周辺の美観整備・安心安全整備で福部駅を拠点として福部町全体の賑わいソフト事業で活性化！</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・企画資料作成 ・福部駅ドローン撮影 ・福部駅ジオラマ製作(駅周辺の美観、安心安全構想モデル) ・企画検討会議
令和4年度	<p>浜湯山・多鯰ヶ池活性化委員会が鳥取市輝く中山間地域創出事業補助金を活用し、福部駅周辺の活性化で持続可能な活動を展開中</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・駅舎周辺の植木剪定、草刈り、植木の植え替え ・駅舎周辺の路面整備、舗装、白線追加 ・駅舎周辺のペンキ塗り、トイレ照明交換や内部ペンキ ・駅舎に「イラスト」貼り付け(伊吹春香さん) ・プランター花植え付け、ゴミ拾い ・福部駅の歴史説明看板製作(A2サイズ) ●駅舎を拠点としたウォーキングや料理講習 <ul style="list-style-type: none"> ・コース上に史跡、名所、遺跡などの説明看板製作
令和5年度		<ul style="list-style-type: none"> ●駅舎を拠点としたウォーキングや料理講習 <ul style="list-style-type: none"> ・コース上に史跡、名所、遺跡などの説明看板製作

福部出身伊吹さん、名所や特産デザイン

駅舎新たな「顔」に

JR福部駅(鳥取市福部町栗谷)で20日、駅舎の塗装作業が始まった。地元住民団体による駅再整備の目玉事業で、同町出身のイラストレーター、伊吹春香さん(32)が「福部の旅」をテーマに地元の名所や特産品「多鯉ヶ池活性化委員会」を

をデザイン。プレハブ風の簡素な建物が、町の魅力が詰まった駅の新たな「顔」に生まれ変わる。利用者の減少で寂れる駅周辺を再整備し、にぎわいを呼び込もうと「浜湯山・



「福部の旅」をテーマに、壁面の塗装作業を進める伊吹さん。殺風景な駅舎が生まれ変わる=20日、鳥取市福部町栗谷のJR福部駅

中心に8団体が協力。駅舎の塗装のほか、隣接する公衆トイレの生け垣の剪定や路面の修繕、来夏には駅を拠点にしたウォーキングなどを計画する。

この日は前日までに下描きを終えた壁面に、伊吹さんが壁画用の絵の具をほけで手際よく塗り進め、紫の花が広がるラッキョウ畑が姿を現した。1人の女性が福部を旅する様子を4面の壁に描き分け、11月下旬に完成予定という。

駅の乗客の多くが地元高校生で、伊吹さんも通学で毎日利用した一人。「イラストを通して、生まれ育った町の良さをPRできるのは感慨深い」とし、同委員会の飼牛明代表(74)は「利用者を増やすのは簡単ではないが、話題性のある福部駅にしてにぎわいを呼び込みたい」と話した。

(野木 紘)

〈福部駅 イラストライフィメージ〉

テーマ「ふくべを巡るロマンチック旅」

一人の女性が福部を旅している様子を描く。

全部の面がさりげなく繋がっている感じが出せたらと思っています。



側面…砂丘とらっきょう畑



駐車場側…らっきょう畑とベンチに座る女性



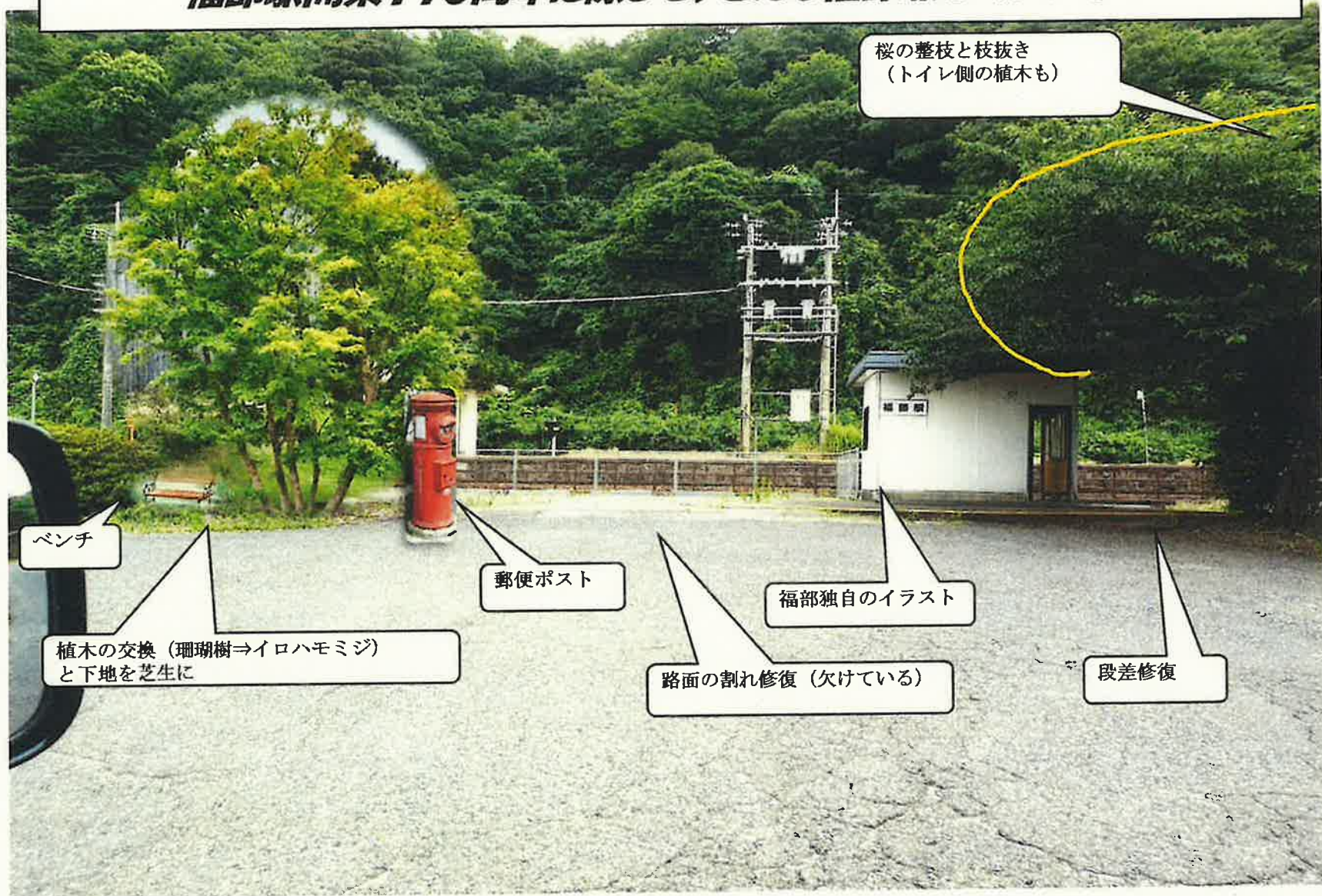
側面…梨の木



線路側…砂丘と旅行カバンをもつ女性

- 制作方法／ペンキを使って直にペイント
- 施工期間／9月下旬～10月上旬を予定

福部駅開業110周年に際して、こんな福部駅ならいいな！



桜の整枝と枝抜き
(トイレ側の植木も)

ベンチ

郵便ポスト

福部独自のイラスト

植木の交換 (珊瑚樹⇒イロハモミジ)
と下地を芝生に

路面の割れ修復 (欠けている)

段差修復